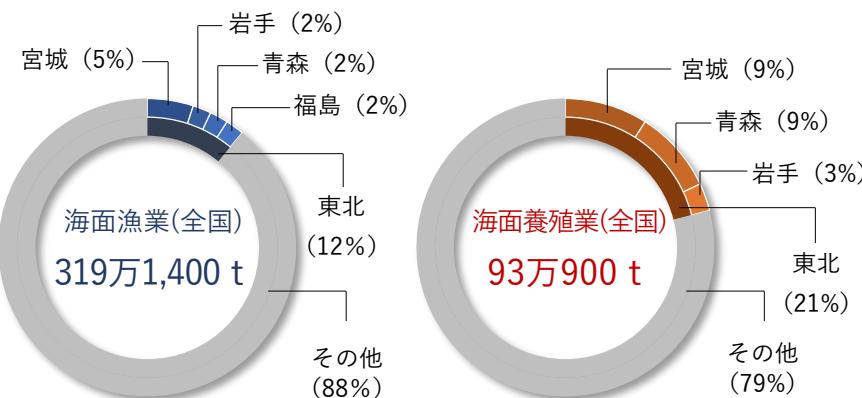


テーマは「海面漁業・養殖業の生産量(令和3年)」

東北の全国シェアは漁業12%、養殖業21%

全国の海面漁業生産量(令和3年)は319万1,400t、海面養殖業生産量は93万900tでした。このうち、東北の海面漁業生産量は37万7,200t、海面養殖業生産量は19万3,300tで、全国シェアはそれぞれ12%、21%となっています(図1)。

図1 海面漁業・養殖業の生産量と東北が占める割合(令和3年)



※ 東北値は東北6県の公表値の積算値(以下同じ)。
海面漁業の秋田県及び山形県は生産量が少なく0%、
海面養殖業の秋田県及び福島県は同じく0%、山形県は生産なし。
表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と計が一致しない場合がある(以下構成グラフにおいて同じ)。

図2 都道府県別海面漁業・養殖業の生産量(令和3年)



漁業・養殖業の合計生産量は、宮城県、青森県が全国5位、6位

東北各県の海面漁業・養殖業を合計した生産量では、宮城県が24万3,500t(全国第5位)、青森県が14万5,700t(同6位)、岩手県が10万9,900t(同12位)となっています(図2、表1)。

漁業・養殖業別の生産動向をみると、前年に比べ、養殖業の変動は少ない一方、漁業は岩手県が20%増加したものの、青森県が28%減少するなど、他の5県とも減少しています(表2、3)。

表1 海面漁業・養殖業生産量

順位	(t)	対前年 前年 増減率 (%)	順位
1 北海道	1,019,000	3 1	1 北海道
2 茨城	299,400	△ 1 2	2 茨城
3 長崎	265,100	6 3	3 静岡
4 静岡	246,000	32 5	4 長崎
5 宮城	243,500	△ 2 4	5 宮城
6 青森	145,700	△ 16 6	11 岩手
12 岩手	109,900	14 14	13 青森
21 福島	62,000	△ 13 19	14 福島
38 秋田	5,900	△ 3 38	37 秋田
39 山形	3,500	△ 20 39	38 山形

表2 海面漁業生産量

順位	(t)	対前年 前年 増減率 (%)	順位
1 北海道	910,400	2 1	1 北海道
2 茨城	299,400	△ 1 2	2 茨城
3 静岡	243,800	32 4	3 静岡
4 長崎	242,700	6 3	4 長崎
5 宮城	161,500	△ 2 5	5 宮城
11 岩手	78,900	20 14	11 岩手
13 青森	65,800	△ 28 10	13 青森
14 福島	61,800	△ 14 13	14 福島
37 秋田	5,700	△ 5 37	37 秋田
38 山形	3,500	△ 20 38	38 山形

表3 海面養殖業生産量

順位	(t)	対前年 前年 増減率 (%)	順位
1 北海道	108,600	15 2	1 北海道
2 広島	95,300	△ 4 1	2 広島
3 宮城	82,000	△ 2 3	3 宮城
4 青森	79,900	△ 2 4	4 青森
5 愛媛	65,700	△ 2 7	5 愛媛
11 岩手	31,000	2 11	11 岩手
34 福島	200	100 35	34 福島
35 秋田	200	100 34	35 秋田

※ 山形県は海面養殖業の生産なし。
表中の「△」はマイナスを表す。

■ 都道府県別の生産量

今回紹介している「海面漁業・養殖業生産統計」のデータは、漁業経営体が所在する都道府県で集計(属人統計)しています。水揚げ港で集計(属地統計)したものではありません。



Vol.12 [令和4年12月]

「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]

農林水産省 東北農政局統計部



漁業生産量の約6割を占める「いわし類」+「さば類」

東北の海面漁業生産量の魚種別割合をみると、「いわし類」の36%と「さば類」の19%で全体の約6割を占めています（図3）。

図3 海面漁業生産量の魚種別割合（令和3年、東北）



図4 海面漁業魚種別生産量（令和3年、東北6県）



この「いわし類」、「さば類」の生産シェアの特徴を東北6県でみると、宮城県、岩手県は生産量全体の5割以上、福島県は8割以上を占めています。

一方、「いわし類」、「さば類」以外の魚種をみると、宮城県では、「かつお類」が生産量全国第2位であることや、フカヒレの原料にもなる「さめ類」が多いこと、岩手県は「たら類」、「ぶり類」、青森県は「いか類」、「たら類」が多いことが特徴です。

日本海側に位置する秋田県と山形県の生産量は少ないですが、秋田県では「かに類」、山形県では「いか類」が最も多い魚種となっています（図4）。

養殖業生産量の約8割を占める「ほたてがい」+「わかめ類」+「かき類」

東北の海面養殖業生産量の魚種別割合をみると、「ほたてがい」の44%、「わかめ類」の17%、「かき類」の15%で全体の約8割を占めています（図5）。

図5 海面養殖業生産量の魚種別割合（令和3年、東北）



東北6県で比較的養殖が盛んな宮城県、青森県、岩手県の生産量をみると、宮城県では全国第1位の「わかめ類」や「ぎんざけ」のほか、広島県に次ぐ全国第2位の「かき類」など、様々な養殖が行われています。

また、青森県は「ほたてがい」が全国第1位、岩手県は宮城県に次いで「わかめ類」が全国第2位といった特徴があります（図6）。

図6 海面養殖魚種別生産量（令和3年、東北各県）



※ 青森県の「こんぶ類」、岩手県の「ぎんざけ」、「ほたてがい」等の秘匿措置により非公表のものは「その他」に含めた。
秋田県及び福島県は0万t、山形県は生産なし。

-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

海面漁業生産統計調査の詳しい情報（公表資料）はこちらからご覧いただけます。

農林水産省ホームページ … https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/

注：今回紹介した海面漁業生産統計調査（令和3年）のデータは概数値であり、確定した詳細な数値は今後、

農林水産省ホームページで公開します。

